

大雨や台風による災害にご用心!!

～早めの避難行動と日頃の防災対策を～

7月後半の北海道北部での大雨や8月上旬に上陸した台風5号によって、河川の氾濫や土砂崩れ、強風などの被害が北海道や東北地方の各地で発生しました。

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風などによる自然災害が発生しやすい季節です。大雨による災害から身を守るために、防災意識を向上しましょう！

📖 上ノ国町での大雨や台風による被害

2017年9月18日に上陸した台風18号の影響で、檜山南部（観測地点：石崎）の17日から18日までの最大1時間降水量は11.5mm、1日の合計降水量は55mmを観測し、天の川の氾濫や低い土地への浸水などの被害を受けました。

天の川河口付近



大留地区



📖 警戒レベルを用いた防災情報を活用しましょう！

住民の皆さんが災害発生の危険度を直感的に理解し、的確な避難行動をとることができるよう、避難に関する情報や防災気象情報などの防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いて伝えています。

キキクルを活用して警戒レベル4までに危険な場所から**全員必ず避難**しよう！

※キキクルとは、雨による災害の危険度を5段階で色分けして地図上にリアルタイム表示するもので、気象庁ホームページで確認できます。



キキクル

(大雨災害の危険度分布)

